

27. ピチット県



ピチット県はタイ北部地方の中では南に位置しています。ピチットとは「美しい」という意味です。

ピチット県はスコタイ時代から続く古い町で、面積は4,531平方キロです。北はピッサヌローク県、東はペッチャブーン県、南はナコンサワン県、西はカンペンペット県とナコンサワン県に接しています。県の人口は554,740人です。

県内を多くの河川が流れ、平野で土壌は肥沃で米などの農産物の生産に適しています。また、タイ米の重要な生産地として知られています。他の農産物はトウモロコシ、サトウキビと緑豆などです。他に、二つの主な鉱物資源として石膏と金鉱もあります。

ピチット県には観光スポットがたくさんあります。例えば、旧ピチット公園、面積は640,000平方メートル以上の公園で周辺には、古い遺跡や旧ピチットの壁、古いパゴダ、排水溝があり、全て900年以前に造られたと推定されています。

また、自然豊かな観光スポットとしてシーファイ沼は8平方キロもあり、タイで三番目に大きい淡水湖となっています。沼の中では色々な種類の淡水魚を養殖しています。

その周辺には、美しい景色の公園が広がっています。この公園は1983年に国王の母君の80歳の記念碑として造られました。また、巨大なワニの像は長さ38メートル、幅6メートル、高さは5メートルもあり、胴体は25～30席の会議場になっています。



ピチット県は昔話「グライトーン」の発祥の地として広く知られています。強い男性グライトーンと巨大なワニ王シャラワンとの戦いの物語です。



ピチット県の最も有名なお祭は、ボートレース祭りで、歴史ある伝統行事として1907年から行われています。昔は陸地の戦争以外に、運河で戦うこともある為、敵が来ないときも、操船術を磨くことが出来るように、海軍はボートレース祭りをを行う事にしました。

現在も毎年9月、ボートレース祭りが行われます。ボートレース競技は三種類で28人乗りまでの小型ボート、40人乗りまでの中型ボートと55人乗りまでの大型ボートと別れ競い合います。